

のぞみ31号 走行中に台車部品が欠損

会社は事故の重大性を 何も感じていないのか！

さる1月25日、のぞみ31号が小倉～博多間で走行中に異音を感知して停車しました。JR西日本の発表によれば、台車の歯車が破損し部品が脱落したとのことです。まかりまちがえば脱線・転覆につながる重大な事態です。

地本は事の重大性から、ただちに1月31日に幹鉄事に対して緊急に申し入れを行いました。

ところが会社はその後今日まで回答はおろか協議の場も設けようとしていません。JR西日本は事故について社会的にあきらかにしましたが、JR東海は社員に対しても社会的にも何一つ見解を示していません。

会社は、この事故を重大な事故とは考えていないようです。信じられません。こんなことで新幹線の安全は守れるのでしょうか？

事故の原因究明と防止策の早急な確立をもとめて闘おう。